

ニュースレター

いりおもての森から

林野庁 九州森林管理局 指導普及課
西表森林環境保全ふれあいセンター
平成24年8月発行 No.34号



森林観察会のお知らせ (10月開催予定)

日本でも最大規模のマングローブ林に代表される亜熱帯の原生的な自然を有する西表島の貴重な森林生態系と生物多様性を理解し、西表島の森林が未来へ残すべき素晴らしい森林であることの認識を深めてもらうことを目的に森林観察会を開催します。

第1回の観察会を、西表島の浦内川支流のウタラ川上流に生育する「森の巨人達100選」に選定されている「ウタラ川のオヒルギ」を訪れ保護活動の取り組みと生育状況の観察と浦内川遊歩道の植物観察を西表島巨樹・巨木保全協議会、沖縄森林管理署、西表森林環境保全ふれあいセンターの三者主催で10月27日(土)に開催を予定しています。

「森林観察会」への問い合わせ
西表森林環境保全ふれあいセンターまで
TEL 0980-88-0747



竹富町立船浮小中学校春の遠足を支援 (森林環境教育)

5月2日(水曜日)、竹富町立船浮小中学校の春の遠足を森林環境教育の一環として支援しました。

自然に親しみ、普段の学習ではできない体験をし、集団の決まりを守り、お互いに協力する態度を育てることを目的に、全校児童3名と教職員3名は西表島西部を流れる仲良川を船で移動し、歩道を30分ほど歩き目的地のナーラの滝を目指しました。当日は梅雨の晴れ間のさわやかな日とに恵まれ子供達は、滝周辺での



みんなで森林のクイズ

水遊びや水中生物の観察を楽しんでいました。また、当センターで作成した森林クイズでは、植物の名前の由来や特徴について、先生と一緒に答えを考え勉強していました。

また、マングローブ林では、船を操船された池田さんから、シレナシジミのを見つけ方を教わり砂泥に足を取られながら目をこらし必死に探していました。参加した児童から日頃は体験する事が出来ないことができて楽しかった。森林のクイズで植物の名前の由来など森林について学ぶことが出来た。との感想があり、みんな元気に学校へと帰っていきました。